

## 小笠原小学校

### 総合的な学習の時間

世界自然遺産として登録された小笠原の自然について、環境教育の視点から系統的な指導計画を立案し、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究的な活動に**主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようになること**をねらいとしている。

- 3年生
  - ・南洋踊り
  - ・小笠原の生き物
- 4年生
  - ・小笠原の植物
  - ・父島安全マップ
  - ・小笠原の太鼓
- 5年生
  - ・小港キャンプ
  - ・アオウミガメの学習
- 6年生
  - ・アホウドリの学習
  - ・タコノ葉細工
  - ・母島
  - ・世界遺産

#### ■ 3年生 小笠原の生き物

小笠原自然文化研究所や世界遺産センターの協力により、小笠原固有の哺乳類「オガサワラオコウモリ」、昆虫「オガサワラハンショウ」の生態について学習をしている。理科をはじめとして、これまでの学習内容等との横断的な指導計画を立てるとともに、フィールドワークや直接触れる体験活動も盛り込んだ総合的な学習を展開している。

#### ■ 4年生 小笠原の植物

島内観光ガイド「マルベリー」、(株)小笠原グリーン、(株)三徳建設、東京都支庁土木課、NPO 法人「小笠原野生生物研究会」等の協力により小笠原の固有の植物について学習をしている。理科「季節と生き物」単元との横断的な指導計画を立てるとともに、フィールドワークやロゴマーク作り、啓発ポスター作り・配布等を盛り込んだ、総合的な学習を展開している。海岸と山地の植生の違いや自分たちの生活圏に希少な植物があるということへの理解を深め、貴重な小笠原の自然を実感している。

#### ■ 5年生 アオウミガメの学習

NPO 法人「小笠原海洋センター」の協力により、アオウミガメの生態について学習をしている。理科「動物の誕生」単元との横断的な指導計画を立てるとともに、海洋センターで実施しているアオウミガメの保護・調査活動を体験する活動を通して、アオウミガメをはじめとする海洋生物への興味関心を高め、郷土への愛着を育てている。

#### ■ 6年生 アホウドリの学習

NPO 法人小笠原クラブ等の協力により、絶滅危惧種であるアホウドリについて学習をしている。専門家から、アホウドリと人間との歴史やアホウドリの保護・調査活動を学び、アホウドリをはじめとする海鳥への興味関心を高め、郷土への愛着を育てている。

上記の学習以外にも、多くの単元で地域の方々を講師に招き、総合的な学習の時間を展開している。**地域との距離が近い小笠原小学校であるという利点を活かしていることが、本校の特徴として挙げられる。**

